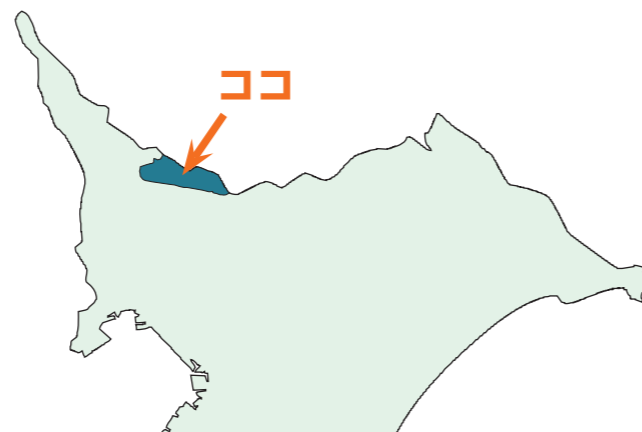


あびこ 我孫子市のこと



我孫子市は、海拔約20メートル、南北延長は最長部で約4キロメートル、東西延長約14キロメートル、面積はおよそ43.15平方キロメートルです。地理的には千葉県の北西部に位置し、東に印西市、南と西は手賀沼を隔て柏市があり、北は利根川をはさんで、茨城県取手市・北相馬郡利根町と隣接し、手賀沼と利根川にはさまれた細長い馬の背状の土地となっています。

昭和30年4月に我孫子町、布佐町、湖北村が合併して我孫子町となり、昭和45年7月に我孫子市となりました。豊かな水と緑に恵まれ、都心から約40キロメートル、常磐線で約35分の近距離にあることから、首都圏へ通勤する人々の住宅地としての役割がおおきくなっています。



市章

我孫子市の頭文字、「ア」を図案化したものです。上の部分は手賀沼を表しており、下の波型は、将来の躍進的發展を表しています。昭和30年8月1日に制定されました。



市の花 ツツジ

サクラとともに親しまれ暑さ寒さに強いことから、伸びゆく我孫子市のシンボルとして、市制施行を記念し昭和45年7月1日に指定されました。



市の木 ケヤキ

空に向かってそびえ、伸びる木の姿は、我孫子市の将来をイメージするものとして、市制施行を記念し昭和45年7月1日に指定されました。



市の鳥 オオバン

手賀沼で最も数が多く、一年中見ることができることから、市を代表する鳥として、昭和63年12月1日に指定されました。



市民憲章

わたくしたちは、利根川と手賀沼にかこまれ自然と歴史にはぐくまれた我孫子の市民です。

わたくしたちは、田園教育文化都市をめざす市民としての誇りを持ち、明日への願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

水と緑と土のおいがいっばいの 住みよいあびこにします
心と体をきたえ 生き生きと働き 伸びゆくあびこにします
老人を大切にし 子どもの夢を育て 幸せなあびこにします
ふるさとを愛し 文化を高め 豊かなあびこにします
みんなで話しあい きまりを守り 明るいあびこにします
昭和56年1月15日制定

市の主なイベント

桜ライトアップ



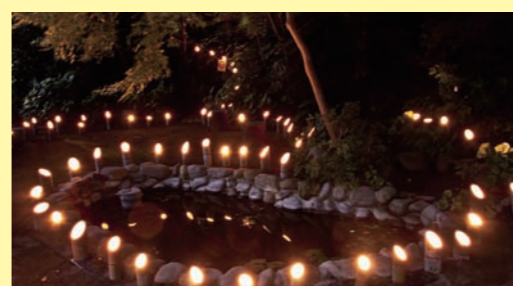
約20種類600本の桜を見ることができる手賀沼遊歩道(約5.3km)。手賀沼親水広場では桜をライトアップし、幻想的な水辺空間を演出します。

手賀沼花火大会



夏の夜空の風物詩となっている花火大会。約13500発の花火が手賀沼を彩ります。

竹灯籠の夕べ



旧村川別荘内に自生する竹を利用し、約600本の竹灯籠でライトアップを行います。我孫子の秋の風物詩です。

竹内神社例大祭 (市指定文化財)

享保年間(1716年～1736年)に発祥した伝統ある祭りで、当番町が神社の神輿を担ぎます。最終日には、神輿と山車が一堂に会し、競演を繰り広げます。



Enjoy 手賀沼!



風薫る5月の第二日曜に一人ひとりが手賀沼とのかかわりを感じながら、楽しく一日を過ごすイベントです。

ジャパンバードフェスティバル



秋に手賀沼周辺で行われる、日本最大級の鳥をテーマにしたイベントです。

郷土芸能祭



市内に古くから伝わる民俗芸能と日本古来の伝統的な笛・太鼓によるお囃子の祭典です。